



Your Fair Partner

## ファイナルレポート

国際メガネ・オプティクストレンド専門見本市  
2009年1月23日～25日  
ドイツ・新ミュンヘン国際見本市会場

2009年1月25日

### opti '09 - 前年比約 1,000 人増となる、およそ 20,000 名が来場

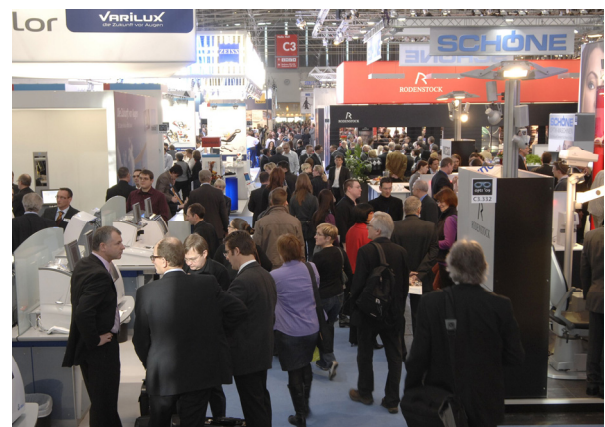
#### Summary

- 出展社は、世界 20ヶ国から 430 社に
- 業界にポジティブなメッセージを発信
- 代表的な業界専門見本市の地位を改めて示す

#### Facts & Data

|                           |   |
|---------------------------|---|
| 会 期                       | 2009年1月23日(金)～25日(日)  |
| 会 場                       | ドイツ・新ミュンヘン国際見本市会場   |
| 主 催                       | 手工業見本市会社 (GHM - Gesellschaft für Handwerksmessen mbH)   |
| 規 模                       | 35,000 m <sup>2</sup> (=全 4 ホール)  |
| 出 展 社 数                   | 20ヶ国から 430 社 (うち、ドイツ国外出展社割合: 27%)   |
| 来 場 者 数                   | 19,700 人以上 (うち、ドイツ国外来場割合: 約 17%)  |
| 主 な 出 展 品                 | メガネ部品・用品(フレーム、レンズ、チェーン、ケース、クリーニング用品、アクセサリ、交換部品など)、子供用・スポーツ用(ゴーグル)・精密・暗視メガネ、サングラス、コンタクト・光学用・太陽光保護レンズ、レンズアクセサリ・ソリューション、視力矯正レーザー、検眼・眼科用機器、メガネ技師・メガネ店舗・眼科機器・用具・備品、圧力計、検温器、補聴器、望遠鏡、顕微鏡、双眼鏡、光学機器、三脚、研削機械、データ処理、コンサルティング、サービス、業界紙 など |
| 併 催 プ ロ グ ラ ム             | opti フォーラム、トレンディ・アワード、opti キャンパス など   |
| 出 展 日 本 企 業<br>(現法出展など含む) | 青山眼鏡(株)、セイコーオプティカルプロダクツ(株)、(株)トプコン、(株)ニデック、HOYA(株)、リードエグジビションジャパン(株) ほか   |
| 専 用 U R L                 | <a href="http://www.opti-munich.com">www.opti-munich.com</a> (英語/ドイツ語)  |

流行のフレーム、コンタクトレンズ、店舗用品、革新的な新タイプのレンズに至るまで、オプティクス・メガネ分野の製品・サービスを幅広くカバーする opti へ、本年は世界 20ヶ国から 430 社が 4 ホール・35,000 m<sup>2</sup>に出展、来場数は 19,700 人超を数え、あらためて業界にとって重要なミーティングポイントであることを示した。独立市場調査機関のアンケート結果によると、来場の 94%が opti '09 に対し『良い～すばらしい』と回答している。また、うなずける結果は、来場の 3/4 にあたる



業界関係者が、opti '09 をオーダーの場として最大限に活用していることだ。『出展製品・サービスの幅広さは opti 成功の鍵である。業界関係者にとって opti への参加は、それ自体が効果的で価値があるため、必須だと言っても過言ではない。また、本メッセの重要な特徴は、opti フォーラムをはじめとした充実の併催プログラムだ。opti は、今年のビジネスに活力を与えた。』とは、手工業見本市会社 (GHM) 代表取締役会長 ディーター・ドアだ。

今回の opti が傾注したポイントは、『流行最前線』だ。業界関係者の多くは、見本市参加の主な動機として、最新のイノベーションを見ることを挙げている。opti '09 で来場者を最も惹きつけた分野は、『フレーム (Frames)』、そして『デザイン・トレンド (Designs & Trends)』だ。特に後者は、大躍進を遂げた。本年初めて設置された <YES!ホール> も、来場者に好評を博した。デザインにおける新しい基準を示した <YES!コンセプト>、そして同ホールに対し、85%が『良い～素晴らしい』との評価をしている。

opti '09 は、さらに国際色が豊かになった。というのは、グローバル企業がもどってきただけでなく、ドイツ国外からの来場も堅調だったからだ。opti '09 へ来場した意思決定権を持つ質の高い業界関係者は、オーストリア、クロアチア、スイス、スロベニア、チェコ、トルコ、ハンガリー、ブルガリアなど、欧州域内ほぼ全てにおよぶ。出展企業代表者との直接商談が活発に行われたほか、opti キャンパスでは、世界に知れ渡っているドイツの教育・訓練コースに関する情報が発信され、注目を集めた。



目下経済情勢が不安定であるにもかかわらず、会期を通じ opti '09 は、良い雰囲気の中で行われた。というのは、opti が業界に対し力強くポジティブなメッセージを送っていたからだ。この点について、ZVA、SPECTARIS 在独両団体会長も同感している。『経済情勢悪化のため新規購入に慎重さを見せるバイヤーもいたが、満足した顔、そしてポジティブなムードは、会期3日間を通じ、出展・来場者全てに見てとれた。ドイツのメガネ・オプティクス業界は、2009年最初の業界ビッグイベント opti がポジティブな空気を作り出してくれると期待していたが、思うにその役割をよく果たしてくれた。』とは、ZVA 会長ノシュ氏だ。SPECTARIS 会長マイ氏は、

『本当に良い雰囲気で開催ブースもすばらしく、運営も大変優れていた。おかげで、業界全体が不況に勇敢に立ち向かっていこうとする気運が生まれた。opti '09 は成功裡に終了した。そしてこれからわれわれは、この良いムードを保ち、それを発信していかなければならない。』と、会期3日間を総括した。

**次回 opti '10 は、2010年1月15日～17日にドイツ・新ミュンヘン国際見本市会場で開催される。**  
2010年には、ホール C1 への新しい入場口が設置され、同見本市会場がさらに魅力的になる。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ [www.opti-munich.com](http://www.opti-munich.com) で

**資料請求、出展申込み、入場券購入、各種お問い合わせ先：**

**メッセ・ミュンヘン・インターナショナル 日本代表部**

〒102-0075 東京都千代田区三番町 2-4 三番町 KSビル 5F 在日ドイツ商工会議所内

Tel.: 03-5276-3508 Fax: 03-5276-3509 e-mail: [info@messe-muenchen.jp](mailto:info@messe-muenchen.jp)

URL: [www.messe-muenchen.jp](http://www.messe-muenchen.jp) (日本語) [www.messe-muenchen.com](http://www.messe-muenchen.com) (英語 / ドイツ語)